

令和3年度 「 事業方針 」

◆ 重点事項

- 特別支援学校等の幼児児童生徒の体育的活動（心身の健全な発達）及び諸スポーツ（運動技術の向上）機会の充実を目指し、秋田県特別支援学校総合体育大会を含めた特体連諸事業の円滑な企画運営を進める。また秋田県障害者スポーツ大会等、各競技大会への参加及び関係諸スポーツ団体との運営協力を進める。
- 特別支援学校等の東北・全国大会への出場、秋田県高等学校体育連盟や秋田県中学校体育連盟主催の各大会への出場を見据え、各校の運動部活動顧問及び関係諸団体と連携を強化するとともに大会に出場する選手への支援を行う。

◆ 推進事項

I 特別支援学校における体育・スポーツ機会の充実

- (1) 第20回記念秋田県特別支援学校総合体育大会の成功
- (2) 秋田県高等学校体育連盟、秋田県中学校体育連盟主催の各大会、また東北・全国大会（全国障害者スポーツ大会、2020東京パラリンピック、全国高体連主催含む諸全国大会）等に出場する選手への支援
- (3) 公益財団法人秋田県スポーツ協会、一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会、秋田県高等学校体育連盟・秋田県中学校体育連盟との連携
- (4) 本県に拠点を置くプロスポーツ団体と連携を進め、各特別支援学校等との交流事業の企画推進
- (5) 県内特別支援学校のスポーツの取組活動を掲載した県特体連ニュースの発行及びホームページを活用した情報発信（特総体、視覚・聴覚支援学校の活躍紹介）

II 連盟組織の強化と財政基盤の維持

- (1) 諸会議や総体専門部会議を円滑に進めるとともに、本連盟事務局を中核に一致団結した事業（総体、強化体制・競技力向上など）とボッチャの各校への普及推進
- (2) 予算（特体連・チャレンジ基金）運用と長期的に安定した連盟の予算執行を継続するための運用体系の検討

III 秋田県チャレンジド・スポーツ連盟との連携

- (1) トップチームの充実を目指し、各校運動部活動顧問と協力した関係づくり
- (2) トップチームの競技力向上を図るべく、強化対策事業（東北及び県内）への参加と選手・スタッフの支援
- (3) エンジョイクラブの開催による生徒のスポーツを通じた健康づくりや生きがいづくり
- (4) 日本FIDバスケットボール連盟や東北知的障がい者サッカー連盟、本県に拠点を置くプロスポーツ団体等との連携